

ニュース明誠

イラスト 渡邊はるな



発行 明誠高等学校

満開の桜に迎えられ

平成二十年度入学式挙行

心から笑える高校生活に

4月10日、明誠高校入学式が挙行された。145名の新入生が、真新しい制服に身をまとい、目を輝かせて入学し、来賓の方々や保護者として教職員、温かい拍手に迎えられた。

永島一忠校長は式辞で、「めまぐるしく変化している現在の社会の中で、確固たる自信を持ち、迫力ある人になれるように努力して欲しい。そして述べた。



入学式で宣誓をする吉村 茜さん



満開の桜の下を登校

また、吉賀中学校出身の吉村茜さんが、新入生を代表して「プレスクールや新入生研修でたくさん友達ができ、この頃から始まる高校生活を思うと嬉しくてたまりません。部活動や学校行事など楽しみもたくさんあります。自分自身の目標に向かって計画を立て、無駄のない一瞬一瞬を送りたいと思います。また、今の気持ちをお忘れず、毎日心から笑えるような高校生活にしたいです」と誓った。

卒業後、寂しかった校舎が一気に華やき活気付いた。

野球・サッカー・卓球部

強化指定部 (サッカー部、野球部、卓球部) に、昨年に引き続き今年も30名の新入生が入部した。新入生が練習に加わり、昨年以上に活気があふれ、勢いづいてきている。

強化指定部が設定されて2年目を迎え、各部とも着々と実力を伸ばし、成果を出しつつある。総体を始めとする種々の大会での活躍が楽しみである。



今年も力が入る指導陣

目標は県No.1! サッカー部

サッカー部は、今年も地元を中心に元気の12名が入部した。入部した選手は次の通りである。大久保英明(益田中)、田中拓也、廣瀬太郎(益田中)、渡邊和樹(高津中)、青木隆平、城友成、尾木翔一(横田中)、岡崎文太(中西中)、水津幸治(日原中)、澄川耕太(六日市中)、福田寛(浜田三中)、恵まられた体格の選手ばかりではないが、判断力の高い生徒が多く、今後が期待される。また、宅野美希(中西中)は益田市の女子クラブチームにも所属し、マ

目標は甲子園! 野球部

今年度は、9名の部員が入部した。船越誠友、中村圭一(益田中)、松本和樹、尾木真澄、加島新利(横田中)、石川聖(高津中)、野村将記(益田中)、齋藤剛(美都中)、山本翔(須佐中)である。山本翔(須佐中)は、真面目で明るい選手が揃い、各クラスの役員を任されている者が多い。その中でも松本和樹は、珠算の資格を持っており、珠算部の大会にも参加したいという。



野球部 松本和樹くん

目標は日本! 女子卓球部

昨年2年連続インターハイ第5位に入賞した女子には、全国各地から近年では最大人数の11名が入部した。実力もハイレベルである。中川博子(広島・可部中)は全国中学個人ベスト8、星野さくら(大分・明豊中)は全国中学生団体準優勝のメンバー。佐藤菜月(福岡・沖田中)、瀨下真優(栃木・陽東中)は全日本選手権に出場経験を持つ。山本麻陽は全国名門、山口・徳門のメンバー。地元勢も県チャンピオンの岡崎美友紀(益田中)をはじめ、大



卓球部女子1年生

目標は全国出場! 男子卓球部

今年も7名のフレッシュメンが入部した。松本貴宏、横田中、シユなメンバが加入した。インターハイ団体出場を目指すが、今後の活躍が期待されている。佐藤和樹、遠藤正也は平田中学校時代に全国中学生団体ベスト8の実力を持つ。林健幸(陵中)も個人県ベスト8の実績だ。その他、吉村卓也、神奈川、星田、正樹は大坂府から本校で卓球に打ち込むことを希望し、遠路遠道やってき



卓球部男子1年生

初めての「新入生研修」

4月7~8日、昨年に引き続き「島根県少年自衛隊」から緊張の中にも思わず和やかさを感ぜられる雰囲気であった。

研修では、「高等学校の勉強は、義務教育とは異なり主体的に学ぶ姿勢が大切である。学習習慣を身に付けて、平素から主体的に勉強していきよう」と国語の勉強法を教わったり、生活指針の一つである挨拶に欠かさない「きれいな礼の仕方」を学んだりした。また、人権学習やオリエンテーリングを通して、2日間の研修を終えた。

対面式で初顔合わせ

4月11日、初めて全校生徒がそろい対面式が行われた。

1年生にとってはどんな先輩たちと高校生活を過ごすのか、2、3年生にとってはどんな1年生が明誠高校の仲間入りをしたのかと楽しみにしていた日であった。

拍手が体育館に鳴り響く中、1年生が緊張した顔で登場すると、ざわめきも層が大きくなった。

生徒会長 三浦英太くん「分からないことがあれば、私たちが先生方に慣れてください」という歓迎の挨拶に続き、入学生代表、瀨下真優さんが「入学式で高校生活についての決意を一言固めました。先輩たちに学んで一生懸命頑張りたいと思いますので、よろしくお願ひします」と堂々とした挨拶が交わされ、和やかにとり行なわれた。

過去最高の合格率

平成19年度福祉科卒業生が第20回介護福祉士国家試験に臨んだ。その結果が3月31日に発表され、全国平均の合格率51.3%をはるかに上回る70.4%という、明誠高校としては過去最高の合格率となった。

合格者の中に、今春から介護士として活躍している。

韓国作文コンクール 特賞!

2年生韓国研修旅行の感想を韓国観光公社主催の「2007年韓国研修旅行感想文・写真コンクール」に出展したところ、豊田さんの書いた「韓国研修旅行を終えて」が、全国から応募された486点中、みごと、特賞(No.1)に輝いた。

3月19日、韓国観光公社福岡支所長より、全校集会の折、表彰を受けた。

高校生活による福祉教育講座 in 二川小学校

今年2月、福祉科3年生7名が二川小学校で福祉講座を行った。今回の企画は二川小学校の校長先生より、総合的な学習のテーマとして「福祉」について取り上げたいとの依頼があり実現した。「福祉」とは何か、この時間の短い時間ではあったものの小学校の皆さんと3年生の交流も深まり、最後は涙ながらのお別れとなった。寒い日ではあったが、小学校の皆さんの温かさを感じる貴重な一日となった。

卓球 中国大会県予選 女子優勝 男子準優勝

このほど行われた中国卓球大会県予選において、女子が5年連続13回目の優勝、男子も強豪雲西高に競り勝ち準優勝と健闘した。またダブルスでは本大会出場権を獲得。女子5ペアが、シングルでは出場権を獲得。ベスト16に男子7名、女子12名が入り、6月に山口県周南市で行われる本大会の出場が決定した。県総体の前哨戦であるこの大会での活躍は、男女揃って全国出場への明かりが見えたとはいえる。



女子優勝の中川博子さん(写真真実)

平成20年度のスタート! 『Meiseiism(明誠イズム)2008』創刊!

平成20年度をスタートするに当たり、『Meiseiism(明誠イズム)2008』が創刊され、全校集会で全生徒に配布された。永島校長より、「とても重要な3年間を明確な目標を持ち、その目標を達成していただくために、明誠イズムが創刊された。本校の生徒としてプライドを持ってしっかりと努力して欲しい。教職員一同が責任を持って教育活動にあたる事を約束する。」と述べ、全308ページから構成されている『明誠ism』の創刊、明誠ismとは、明誠高校の教職員及び生徒一同一の主義主張であり、学科、学年クラス、部活動の目標が明確に表示されている。また教科は、目標と共に年間授業計画も表示されている。今後、明誠高校の教育活動のあらゆる場面で活用していくことになる。

特集 がんばっています!! 卒業生 中島心也さん

中島心也さん(平成18年度卒) 島根益田信用組合勤務

今回は、平成18年度情報科を卒業した、中島心也さん(高津中)を紹介いたします。中島さんは在学中にバスケットボール部で活躍する一方、多くの資格を取得し、地域社会で親しまれている島根益田信用組合に入社した。

最初は人間関係に戸惑うことが多く、毎日学ぶことが多かったが、ようやくお客様に気配りをする余裕が出てきました。今は、まずお客様

お知らせ

- 体験入学**
 - 第1回目 7月29日(火)
 - 第2回目 7月30日(水)
 - 第3回目 8月22日(金)
 - 第4回目 8月23日(土)
- 部活動体験**
 - 第1回目 7月30日(水)
 - 第2回目 8月22日(金)
 - 第3回目 9月27日(土)
- 行事予定**
 - 期末試験 6月26日(木)~7月1日(火)
 - 韓進高校(韓国姉妹校)来校 7月18日(金)
 - 1学期終業式 7月18日(金)
 - 1・2年生保護者面談 7月14日(月)~25日(金)
 - 2学期始業式 8月25日(月)
 - 向日葵祭(体育祭) 8月30日(土)

地域社会に貢献

4月20日の「益田祭り」益田地区会館に、インターアクトクラブと生徒会執行部が参加した。メイン会場まで行くことができない高齢者や小さな子ども連れの方々も、お祭りを楽しめるようにと企画された地域に密着した益田地区会館で、地域の方々と一緒にバザーの手伝いをした。お祭り終了後は、地域の清掃活動も実施し、有意義な一日を過ごした。

メッセージ

最初は人間関係に戸惑うことが多く、毎日学ぶことが多かったが、ようやくお客様に気配りをする余裕が出てきました。今は、まずお客様

入賞さらにその上を目指したい。」と語った。夏の大会での再チャレンジに期待したい。

予選リーグ 明誠③-0函館大妻(北海道) 明誠0-③遊学館(石川)